



新規口座開設限定

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!



今すぐ口座開設/詳細はこちら

チェーンリンクETFとは何ですか？

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/crypto-basics/what-is-a-chainlink-etf>



[ビットコイン](#)とイーサリアムのETFが米国で承認されたことで、次はどの仮想通貨がETFの対象になるのかという憶測が飛び交っている。投資家はチェーンリンク、ソラナ、XRPのような人気のアルトコインを注視し、ETFの可能性を期待しています。当社のチェーンリンクETFガイドは、これらの規制された金融商品の可能性を掘り下げ、2024年の状況について最新情報を提供します。最新の洞察を発見し、投資ポートフォリオのために十分な情報に基づいた意思決定を行うためにお読みください。

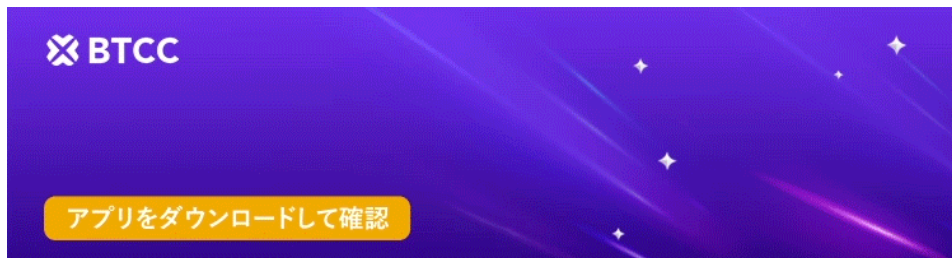
- [チェーンリンクETFの可能性](#)
- [チェーンリンクETFに期待される主な特徴](#)
- [チェーンリンクETFガイド: すべての仕組みを理解する](#)
- [チェーンリンクETFの作業工程](#)
- [原資産の概念とは?](#)

- [チェーンリンクETFの取引所取引の仕組みは？](#)
- [規制の枠組みの概念とは？](#)
- [チェーンリンクETFは市場を支配しているか？](#)
- [チェーンリンクETFに投資するメリットは？](#)
- [チェーンリンクETFの潜在的リスク？](#)
- [チェーンリンクETFとビットコインETF：どちらが良い投資か？](#)
- [チェーンリンクETFとイーサリアムETF：どちらが良いか？](#)
- [チェーンリンクETFは注目に値するか？](#)

チェーンリンクETFの可能性

Chainlink ETFは、Chainlinkエコシステムのネイティブ仮想通貨であるLINKへのエクスポージャーを投資家に提供します。有名な分散型オラクルネットワークであるチェーンリンクは、ブロックチェーンとオフチェーンの世界の橋渡しをし、ブロックチェーンのグローバルなリアルタイム情報交換を可能にしている。

このエコシステムの中で、LINKは主要な決済手段として機能しており、チェーンリンク・ネットワークの運営における不可欠な役割を強調している。この革新的なブロックチェーン技術の可能性を利用しようとする投資家は、LINK投資への入り口としてチェーンリンクETFを検討することができる。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

チェーンリンクETFに期待される主な特徴

チェーンリンクETFに期待できる魅力的な特徴をいくつか紹介しよう：

投資家はチェーンリンクの分散型オラクルネットワークに直接アクセスすることができ、スマートコントラクトとAPIや決済システムなどの実世界データとの相互作用を促進する。LINKを主要資産とするこれらのETFは、投資家にチェーンリンクのエコシステムの成長を共有する力を与えます。チェーンリンクの分散型ガバナンスの原則に沿うこれらのETFは、ファンドの幸福に不可欠な戦略的決定において、保有者に発言権を与える可能性がある。

さらに、チェーンリンクのオラクルを利用することで、DeFiプラットフォームへのエクスポージャーを高め、有利な流動性プールへのアクセスやイーールドファーミングの可能性を広げている。

さらに、チェーンリンクETFはスマートコントラクトを活用し、市場のシフトや事前に定義された基準に対応して、保有銘柄を動的に調整・リバランスする可能性がある。この革新的なアプローチは、チェーンリンクのエコシステムに深く根ざした、シームレスで市場対応の投資手段を投資家に約束する。

チェーンリンクETFガイド：すべての仕組みを理解する

LINK ETFは通常のETFと同様に機能し、デジタル資産とブロックチェーンに重点を置いています。チェーンリンクETFの仕組みに飛び込もう：どのように運用されるのか？



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

チェーンリンクETFの作業工程

チェーンリンクETFの株式作成と償還のプロセスは、従来のETFと同じである。鍵を握るのは、公認参加者（AP）と呼ばれる大手金融機関である。APは原資産であるLINKと等価額を預託して新たなETF株を生み出し、その見返りとしてETF株を受け取る。あるいは、APはETF株を原資産であるチェーンリンク・トークンと交換するオプションを持っており、柔軟性と流動性を提供する。

この仕組みにより、ETFとその原資産であるLINKとの間のスムーズな流れが確保され、仮想通貨市場における効率的な取引と投資が促進される。チェーンリンクETFの株式作成と償還のプロセスは、従来のETFのそれを反映している。公認参加者（AP）と呼ばれる大手金融機関が鍵を握る。APは、新しいETF株を生成するために、原資産であるLINKを同額預託し、その見返りとしてETF株を受け取る。逆に、これらのAPはETF株を実際のチェーンリンク・トークンと交換するオプションを持っている。この柔軟性は、APの専門知識と相まって、スムーズで効率的なETF運営を保証し、仮想通貨を直接保有することなくチェーンリンクへのエクスポージャーを得るための安全で信頼できる方法を投資家に提供する。

原資産の概念とは？

原資産がすべてのETFを物理的に支えているため、その価値はETFが表す資産のパフォーマンスと直接結びついている。

Chainlink ETFの場合、これは実際のLINKトークンを安全な機関投資家レベルのカストディ・ソリューションで保有することを意味します。これにより投資家は、ETFの価値がチェーンリンクのパフォーマンスを反映するという安心感と保証を得ることができる。

例えば、21Shares Chainlink ETPは100%物理的な裏付けを提供し、LINKトークンをコールドストレージで安全に保管することで、その安全性と完全性を維持しています。原資産はすべてのETFを物理的に裏付け、その価値が資産のパフォーマンスと直接結びついていることを保証します。チェーンリンクETFの場合、これは実際のLINKトークンを機関レベルのカストディ・ソリューションで安全に保有することを意味します。このような裏付けは、投資家に安心と保証を与えます。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） <<<<](#)

チェーンリンクETFの取引所取引の仕組みは？

従来のETFと同様に、チェーンリンクETFは主要な証券取引所に上場され、取引可能である。Chainlinkへのエクスポージャーを求める投資家は、自分の証券口座を通じてETF株を便利に売買することができ、仮想通貨ウォレットや取引所と関わる必要がなくなる。

このETPはDeutsche Brse Xetraなどのプラットフォームで取引され、投資家にチェーンリンクへのコスト効率の高いゲートウェイを提供している。2024年8月現在、このETPは市場で利用可能な数少ないオプションの1つであり、このETPのユニークさと投資環境における可能性を浮き彫りにしている。

規制の枠組みの概念とは？

すべてのETFは認可のために厳格な規制当局の精査を受ける。チェーンリンクETNや他のETPのような類似商品は世界的に広く利用可能であるにもかかわらず、チェーンリンクETFは規制上の制約から米国では依然として利用できない。承認プロセスは、原資産（この例ではLINK）および公認参加者（AP）とともにLINK ETFの基礎を形成しており、その利用可能性と運用を決定する規制の枠組みの重要性を浮き彫りにしている。

すべてのETFは承認前に厳格な規制当局の精査を受けなければならない。チェーンリンクETNや他のETPのような類似商品は世界的に入手可能かもしれないが、チェーンリンクETFは厳格な規制のため、米国では依然として入手不可能である。承認プロセス、公認参加者（AP）の役割、原資産（この例ではLINK）のステータスは、LINK ETFのコンセプトの基本であり、その利用可能性と市場での地位を形成している。米国でチェーンリンクETFが規制当局から承認されていないことは、市場アクセスや商品の可用性を決定する規制の枠組みの重要性を浮き彫りにしている。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック） <<<<](#)

チェーンリンクETFは市場を支配しているか？

前述のとおり、チェーンリンクETFは米国ではまだ承認されていない。世界的に見ると、上場投信の存在感は依然として小さいが、その仕組みや運用を知ることができるETNやその他のETPがある。米国市場ではチェーンリンクETFの利用可能性は低いですが、取引所投資の概念をよりよく理解するために、これらのオプションの検索をお勧めすることをお勧めする。これらの商品は、進化する取引所取引のエコシステムをナビゲートしようとする投資家に貴重な洞察を提供する。

チェーンリンクETFのグローバルプレゼンス：スイスとドイツ

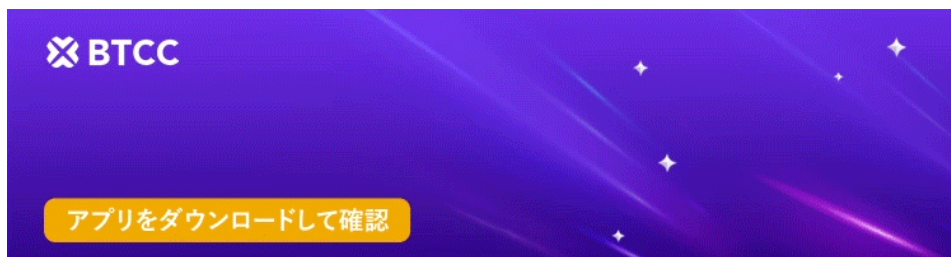
21Shares Chainlink ETP（ティッカーLINKおよび21XL、ISIN CH1100083471）は、スイス証券取引所およびドイツ証券取引所XetraにETNとして上場している革新的な上場商品である。2024年8月2日現在、1,200万ドルの運用資産を持つこのETPは、YTDリターンが-3.04%であるにもかかわらず、1年間のリターンは+99.83%を誇っている。投資家は、機関投資家レベルのカストディアンであるCoinbase Custody Trust Company, LLCによってコールドストレージに安全に保管されたLINKトークンによる100%物理的な裏付けから利益を得ています。2018年以降、ETPはカーボンニュートラルであり、持続可能性の目標に合致している。パフォーマンス指標には、1年間のボラティリティ79.71%、最大ドローダウン-41.39%が含まれ、経費率は2.50%と競争力を維持しています。このETPは、分散型オラクル・ネットワークのリーディング・カンパニーであるチェーンリンクに、透明性と安全性を確保しながら投資するユニークな方法を提供する。

ドイツのチェーンリンクETN

VanEck Chainlink ETN (VLNK)は、Deutsche Brse Xetraに上場している上場投資信託です。

VanEck Chainlink ETN (VLNK)は、MarketVector Chainlink VWAP Close Indexを複製し、投資家にLINKトークンへの直接的なエクスポージャーを提供します。DE000A3GXNV0のISINを持つこの上場投資証券（ETN）は、Deutsche Brse Xetraに上場しており、Chainlinkのグローバルなプレゼンスへのシームレスな投資方法を提供します。2024年8月2日現在、このETNは420万ドル相当の資産を運用しており、市場の関心の高さを示している。

年初来リターンは-10.15%であったが、1年間のリターンは+165.60%と、ボラティリティは80.37%であったものの、目覚ましい成果を上げている。開始以来の最大ドローダウンは-41.92%である。このETNの主な特徴は、完全に担保化されており、投資家に各仮想通貨の受渡しと引き換えに償還する権利を提供することである。LINKトークンはコールドストレージに安全に保管され、安全性が確保されている。VanEck Chainlink ETNは、1.50%の経費率と規制された仮想カストディアンにより、チェーンリンクの世界的な市場プレゼンスに投資する強固で安全な方法を提供します。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

チェーンリンクETFに投資するメリットは？

仮想通貨を裏付けとする上場商品への投資には、数多くの利点がある。

最も注目すべき点は、ポートフォリオの多様化、仮想通貨に特化した分かりやすい投資、透明性の向上である。LINKトークンがETPとETNを完全に担保し、コールドウォレットに安全に保管されるため、セキュリティが強化される。

さらに、チェーンリンクETFへの投資は環境コミットメントに沿うものであり、カーボン・ニュートラルに貢献します。税制優遇はもう一つの特典であり、VanEck Chainlink ETNの1年間のリターンが+165.60%という素晴らしいものであることから分かるように、投資家は魅力的なリターンを期待することができます。

このような魅力的なメリットがあるチェーンリンクETFへの投資は、ポートフォリオを多様化し、仮想通貨市場の潜在力を活用するための賢い選択です。仮想通貨を裏付けとする上場商品への投資には、数多くのメリットがあります。主なメリットの1つはポートフォリオの多様化で、これらの商品を利用することで、投資家は仮想通貨に特化した投資をポートフォリオに簡単に組み入れることができます。

チェーンリンクETFの潜在的リスク？

ETFは、典型的な仮想通貨投資よりも従来の市場ツールに近く、投資家にユニークな手段を提供する。しかし、仮想通貨ETFを検討する際には、いくつかの重要な要素に注意する必要がある。特に、仮想通貨を取り巻く規制リスクは大きい。さらに、スマート・コントラクトの不具合など、技術的な危険も潜在的な脅威となる。特に小規模な取引所では、流動性リスクも投資家に影響を与える可能性がある。さらに、セキュリティ上の懸念や過去のデータの欠如が不確実性を生み出している。市場のボラティリティは、感情や認識の変化によって引き起こされ、さらに複雑さを増す。最後に、カウンターパーティ・リスクを慎重に評価する必要がある。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

チェーンリンクETFとビットコインETF：どちらが良い投資か？

チェーンリンクETFと仮想通貨ベースのオリジナルETFとの比較です。この2種類のETFの違いと類似点をご覧ください。チェーンリンクETFとオリジナルの仮想通貨ベースのETFとの比較です。チェーンリンクETFとビットコインETFの違いと類似点をご覧ください。どちらがあなたの投資ニーズに合っていますか？

チェーンリンクETF

- テクノロジーの用途チェーンリンクの埋蔵量証明
- ボラティリティ：DeFiの統合により高い
- ユースケース分散型オラクルとスマートコントラクトに注目
- 市場での採用：DeFiアプリケーションでの成長
- 規制の現状：透明性の向上

ビットコインETF

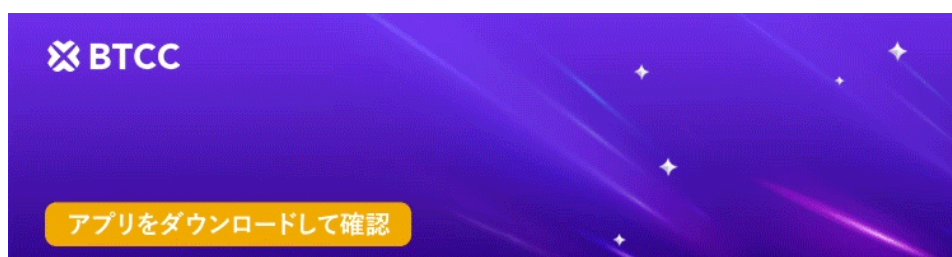
- テクノロジーの用途ビットコインのブロックチェーン
- ボラティリティ：ビットコイン市場の変動により高い
- ユースケースデジタルゴールドと価値貯蔵
- 市場での採用主要な仮想通貨として広く採用されている。
- 規制の現状：規制当局の受け入れ拡大

以下の引用は、チェーンリンクETFの成長を促進するビットコインETFの重要性を強調している：「チェーンリンクの共同設立者であるセルゲイ・ナザロフ氏は、「純新規の買い手は、普及を促進し、市場サイクルを形成する。このチェーンリンクETFへの勢いの変化は、ビットコインETFの台頭によるところが大きい。

チェーンリンクETFとイーサリアムETF：どちらが良いか？

チェーンリンクETFは、最近承認されたイーサリアムETFからヒントを得るべきである。以下はその主な違いの内訳である：チェーンリンクETFは分散型オラクルネットワークを基盤としており、スマートコントラクト用のオフチェーンデータの確保に特化している。このテクノロジーは様々なDeFi分野に特化しており、複数のプロジェクトに統合されているためボラティリティが高い。一方、イーサリアムETFはスマートコントラクトとDAppプラットフォームが中心であり、分散型アプリケーションの構築に広く採用されている。DeFiやDAppsでの広範な利用もボラティリティの高さに寄与している。市場的には、チェーンリンクがニッチなDeFi分野で成長している一方、イーサリアムは様々なブロックチェーン・アプリケーションで幅広く採用されている。規制の観点からは、チェーンリンクETFが明確化し、イーサリアムETFが規制当局に受け入れられつつあり、米国市場で既に確立されたビットコインETFで観察された傾向を反映しています。

チェーンリンクETFは、最近承認されたイーサリアムETFからヒントを得るべきである。チェーンリンクETFとイーサリアムETFを比較すると、いくつかの重要な違いが浮かび上がってくる。まず、チェーンリンクETFは分散型オラクルネットワークに支えられており、スマートコントラクトのオフチェーンデータを安全に橋渡しする。逆に、イーサリアムETFはイーサリアムプラットフォームと連携しており、分散型アプリケーション構築の基盤として機能する。ボラティリティの点では、チェーンリンクETFは複数のDeFiプロジェクトに統合されているため高い変動を示し、イーサリアムETFもDeFiやDAppsで幅広く利用されているため大きなボラティリティを示している。これらのETFのユースケースも異なっている：チェーンリンクはスマートコントラクトのためのオフチェーンデータの確保に重点を置いているのに対し、イーサリアムは幅広いブロックチェーンアプリケーションのためのプラットフォームを提供しています。市場導入の面では、チェーンリンクはDeFiに特化したニッチで成長しているのに対し、イーサリアムはブロックチェーンエコシステム全体で広く受け入れられている。規制の明確化は両者とも進展しているが、イーサリアムETFは規制当局の受け入れが進んでいる。興味深いことに、イーサリアムETFのいくつかの側面はビットコインETFのそれを反映しており、米国市場での存在感と影響力を反映している。



[Google Playで手に入れよう](#)

[App Storeからダウンロード](#)

[日本ユーザー様限定特典（10,055USDTギフトパック）<<<<](#)

チェーンリンクETFは注目に値するか？

このチェーンリンクETFガイドは、これらのTradFi対応投資ツールはまだ米国では認可されていないが、認可されればその影響は顕著になることを明らかにしている。ETFへの投資は、LINKへの直接投資に比べ、より安全性が高まるかもしれないが、利益は保証されていない。すべてのETFはリスクを伴い、仮想市場は選択した投資手法にかかわらず不安定であることを忘れてはならない。投資家は、潜在的な報酬と市場に内在するリスクのバランスを取りながら、慎重に行動する必要があります。